

上場会社名：富士電機株式会社  
 代表者名：取締役社長 沢 邦彦  
 (コード番号6504 東証・大証・名証第1部 福証)  
 問い合わせ先：財務計画室 財務部長 松本淳一  
 TEL 03 - 5435 - 7111 (代表)

### 平成15年3月期中間期および通期の業績予想修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、前回発表した中間期および通期の業績予想を下記のとおり修正致します。

#### 記

#### 1. 15年3月期連結中間期業績予想数値の修正 (平成14年4月1日～平成14年9月30日)

(単位：百万円、%)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A) (平成14年7月25日発表)	370,000	15,500	11,000
今回修正予想(B)	360,000	12,000	12,500
増減額(B - A)	10,000	3,500	1,500
増減率(%)	2.7	22.6	13.6
前期(平成14年3月期中間期)実績	362,832	12,627	9,971

#### 2. 15年3月期単独中間期業績予想数値の修正 (平成14年4月1日～平成14年9月30日)

(単位：百万円、%)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A) (平成14年7月25日発表)	195,000	5,000	3,500
今回修正予想(B)	192,500	3,500	4,500
増減額(B - A)	2,500	1,500	1,000
増減率(%)	1.3	30.0	28.6
前期(平成14年3月期中間期)実績	189,845	1,630	774

#### 3. 15年3月期連結通期業績予想数値の修正 (平成14年4月1日～平成15年3月31日)

(単位：百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成14年4月26日発表)	870,000	16,000	8,000
今回修正予想(B)	840,000	13,000	3,000
増減額(B - A)	30,000	3,000	5,000
増減率(%)	3.4	18.8	62.5
前期(平成14年3月期)実績	839,135	5,791	3,217

#### 4. 15年3月期単独通期業績予想数値の修正 (平成14年4月1日～平成15年3月31日)

(単位：百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成14年4月26日発表)	470,000	9,500	5,000
今回修正予想(B)	450,000	7,000	4,000
増減額(B - A)	20,000	2,500	1,000
増減率(%)	4.3	26.3	20.0
前期(平成14年3月期)実績	469,338	6,297	3,651

## 5. 業績予想修正の理由

### (1) 中間期の業績予想について

最近の経営環境は、民間設備投資低迷などによる国内市場の回復遅れ、ならびに公共投資削減など引き続き厳しい状況が続いております。

このような環境下、中間期の業績予想については、売上高は、「電機システム」部門、「機器・制御」部門および「電子」部門は、連結および単独ともに前回発表（本年7月25日）予想値を若干下回る見込みです。「流通機器システム」部門はほぼ計画通りとなる見込みです。

損益面では、営業損益は、「流通機器システム」部門を中心に経費削減等により好転し、経常損益でも為替による好転が見込まれますが、投資有価証券評価減に伴う追加の特別費用の発生により、中間純利益は前回発表予想値に対して悪化する見込みです。

### (2) 通期の業績予想について

売上高は、「電機システム」部門では、環境プラントの納期変更や水処理システムプラントの工期延伸など公共投資削減の影響を受けている環境・情報システム分野、および民間設備投資低迷の影響を受けている電機・交通システム分野の産業プラントを中心に当初計画（本年4月26日発表）を下回る見込みです。「機器・制御」部門では、中国向けインバータは順調ですが、国内市場の回復が遅れている器具の物量減により、当初計画を下回る見込みです。「電子」部門では、電子デバイス分野は先行き不透明感があるものの堅調に推移する見通しですが、パソコン市場の不振の影響を受けている磁気記録媒体の物量減により、当初計画を下回る見込みです。「流通機器システム」部門は、自販機業界低迷の影響を受けて当初計画を大幅に下回る見込みです。

営業損益は、「電機システム」部門では、発電・変電分野における操業悪化や環境・情報システム分野の売上減に伴い、当初計画を下回る見込みです。「機器・制御」部門は、国内市場の回復遅れによる売上減に伴い、当初計画を下回る見込みです。「電子」部門では、磁気記録媒体の売上減に伴う損益悪化があるものの、電子デバイス分野の損益好転により、ほぼ当初計画通りとなる見込みです。「流通機器システム」部門は、自販機業界低迷による売上減があるものの、ほぼ当初計画通りとなる見込みです。

特別損益は、退職給付信託設定益、および変電事業の会社分割に伴う営業移転利益（約125億円）などを特別利益として計上する予定です（\*参考資料：同日付発表の「変電事業の会社分割に関するお知らせ」）。特別損失としては、退職給付数理計算上の差異償却、投資有価証券評価減、ならびに生産体制再編費用などの事業構造改革の加速に伴う特別費用が発生致します。

以上により、本年4月26日発表の通期の連結および単独の業績予想を下方修正することと致しました。

なお、下期の前提となる対米ドル平均相場円レートは、前回125円/ドルで見えておりましたが、今回115円/ドルで想定しております。

### 【注記事項】

上記の業績見通しは、市場における当社製品の需給の急激な変動、米ドルを中心とした対円為替相場の変動、日本の株式相場の変動などにより、実際の業績と異なる場合があり得ることをご承知置き願います。

以上

平成15年3月期中間期および通期 業績予想補足説明資料

1. 連結業績予想概要

(単位：億円)

	平成15年3月期						平成14年3月期	
	今回発表		前回発表		差異		実績	
	中間期	通期	中間期 (7/25発表)	通期 (4/26発表)	中間期	通期	中間期	通期
売上高	3,600	8,400	3,700	8,700	100	300	3,628	8,391
営業利益	90	180	110	210	20	30	118	74
経常利益	120	130	155	160	35	30	126	57
当期(中間)純利益	125	30	110	80	15	50	99	32

2. 単独業績予想概要

	平成15年3月期						平成14年3月期	
	今回発表		前回発表		差異		実績	
	中間期	通期	中間期 (7/25発表)	通期 (4/26発表)	中間期	通期	中間期	通期
売上高	1,925	4,500	1,950	4,700	25	200	1,898	4,693
営業利益	25	90	-	105	-	15	17	61
経常利益	35	70	50	95	15	25	16	62
当期(中間)純利益	45	40	35	50	10	10	7	36

3. 連結部門別売上高

	平成15年3月期						平成14年3月期	
	今回発表		前回発表		差異		実績	
	中間期	通期	中間期 (7/25発表)	通期 (4/26発表)	中間期	通期	中間期	通期
電機システム	1,400	3,900	1,440	4,000	40	100	1,432	4,135
機器・制御	750	1,650	770	1,700	20	50	799	1,591
電子	600	1,250	610	1,300	10	50	652	1,284
流通機器システム	800	1,550	800	1,650	0	100	689	1,295
その他	320	750	350	750	30	0	333	752
小計	3,870	9,100	3,970	9,400	100	300	3,906	9,058
消去	270	700	270	700	0	0	278	667
合計	3,600	8,400	3,700	8,700	100	300	3,628	8,391

(注) 各部門の売上高には、部門間の内部売上高を含めて表示しています。

4. 連結部門別営業利益

	平成15年3月期						平成14年3月期	
	今回発表		前回発表		差異		実績	
	中間期	通期	中間期 (7/25発表)	通期 (4/26発表)	中間期	通期	中間期	通期
電機システム	140	45	145	70	5	25	135	32
機器・制御	15	20	18	35	3	15	19	33
電子	45	85	50	80	5	5	16	45
流通機器システム	13	15	4	10	17	5	18	25
その他	6	15	6	15	0	0	2	5
小計	91	180	111	210	20	30	118	73
消去又は全社	1	0	1	0	0	0	0	1
合計	90	180	110	210	20	30	118	74